

[年間連載テーマ]新しい地域の姿を求めて

2月号のテーマ

# まちの家計簿を もっと知ろう

平成22年度の予算と決算を振り返る

集中しているね。  
一つ一つのかたちを見つめ、  
組み合わせの間合いを計り、  
創造したい新たな姿を夢見て  
愛情を注ぎ、  
こころをこめて積み上げていく。  
それは、まちづくりの極意とおなじだね。

- 情報共有を深める [行政報告]
- まちの話題 [写真で振り返る12・1月の出来事]
- 町民の広場 [健康診断でいつまでも健康に㉓／きもべつの文芸／健康通信 ㉔／桂敦史院長のちょっと耳寄りな話 ㉕]
- お知らせ [町・道・国などからのお知らせ／ほっとインフォメーション／地域おこし協力隊の活動報告 ㉖]
- まちのカレンダー／戸籍の窓口 など

# 広報 きもべつ

2012年  
2月



# まちの家計簿をもっと知ろう

## 平成22年度の予算と決算を振り返る

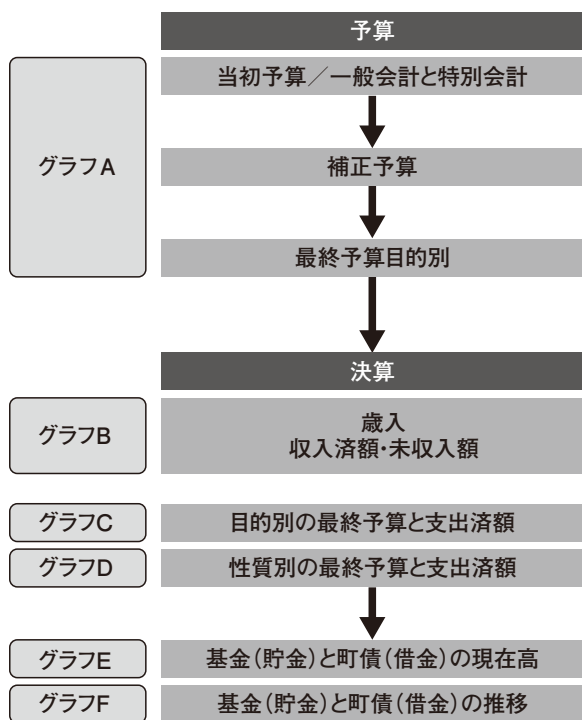
平成23年12月13日に開催された第4回定例議会で、平成22年度の決算が認定されました。  
まちの家計簿とも言える財政状況については、  
広報紙でも毎年予算について掲載（※1）しているほか、  
決算については町のホームページに掲載しています（※2）。  
決算とは何か。  
平成22年度の一般会計と各特別会計の歳入歳出決算について考えてみます。

### I 予算から決算までの流れ

3月定例議会で議決された予算は4月から執行されますが、年度当初に想定できない事柄

が発生した場合には、年度途中で補正予算を組んで対応します。年度によっては前年度からの繰越事業も加え、年度末には最終的な予算額が定まります。予算を組んで予定していた歳

【※3】予算と決算の内容



入歳出額は変動することが多いので、実際に収入となった額、支出となった額をもとに、予算が実際どのように活用されたかを示すのが、決算です。決算は、その年度内の収入や支出に加え、前年度からの繰り越し事業の収入支出などもあります。5月末の出納閉鎖後、決算書を調整し町監査委員に提出、決算監査を受け9月に町議会へ決算認定のため議案として提出しています。議会での審議を経て、平成22年度各会計歳入歳出予算は認定されました。

このような予算から決算までの流れの中で、その概要を見えます。【※3】

### II 平成22年度の予算の推移

#### 当初予算

平成22年度の一般会計当初予算額は、平成21年度より約3億3千6百万円少ない約22億3千1百万円（グラフA）でした。平成21年度に約4億8千6百万円の事業費だったまちづくり交付金事業が、平成22年度には約8千2百万円に減少し、代わりに新たな町道整備や新喜茂別中学校への移転のための工事費などが計上されるなど、事業費の変化が背景となっています。

#### 補正予算

平成22年度の一般会計では、

14回にわたり、約2億4千3百万円の補正予算が追加されました（グラフA）。その背景は多岐にわたりますが、地方交付税が想定以上の額となったり、当初予算を編成する段階で想定していなかった経費が発生するなどによるものです。

#### 最終予算

当初予算に前年度からの繰り越し事業と補正予算を加えたも

のが、最終予算です。平成22年度には約29億9千万円になりました（グラフA）。

### III 平成22年度の決算

#### 一般会計決算額・歳入

一般会計の最終予算額約29億9千万円に対して、実際に収入がなされた収入済額は約29億8千1百万円。収入率は

99.7%です。これは、予算で想定していた収入額が実際には異なる額となったものや、予定通り収入が得られなかったケースなど、多様な背景によります。

科目ごとの収入は（グラフB）

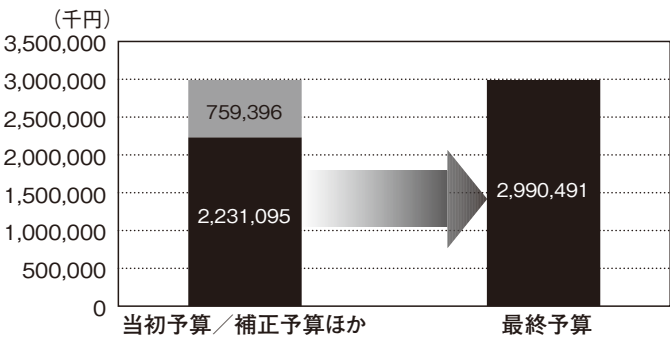
のとおりですが、最終予算額と比べて大きな相違があるのは、「国・道からの支出金」（特定の目的のために交付されるお金）が実際には約7千2百万円のマイナス、地方交付税が約4千

5百万円のプラスなどでした。

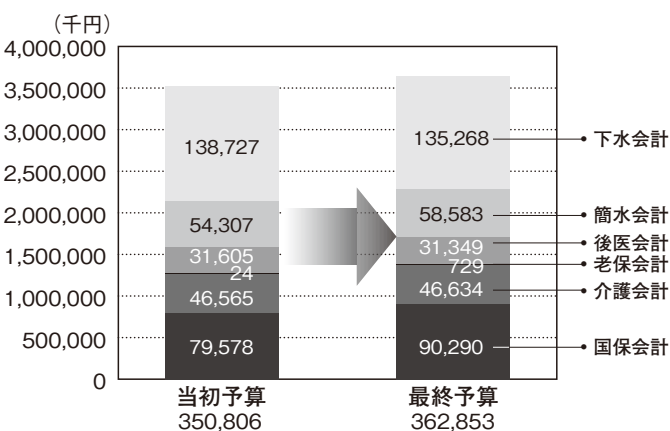
また昨年度の収入済額と比べての大きな変化は、町債（建設工事の実施などによる借入金）が約4億1千9百万円のマイナスとなっている一方で、国・道支出金が約9千万円のプラスとなっていることなどが眼を引きます。まちづくり交付金事業が終盤にかかり、事業費が大きく減少したことも、町債の変化の背景にあります。

グラフA

#### ■一般会計（平成22年度）

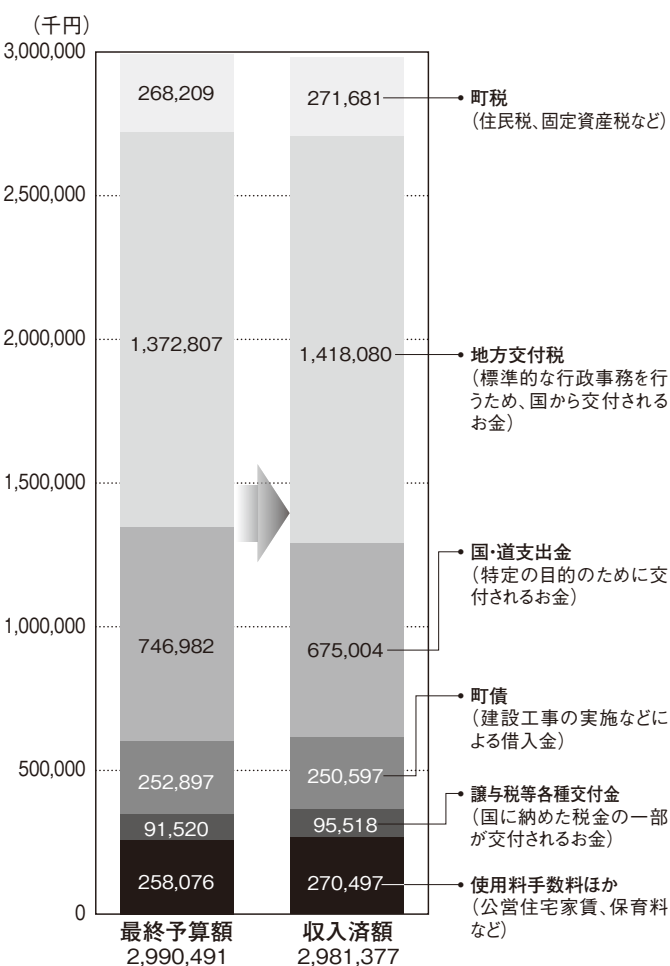


#### ■特別会計（平成22年度）



グラフB

#### ■一般会計決算額：歳入



【※1】『広報きもべつ』5月号特集に掲載

【※2】 [http://www.town.kimobetsu.hokkaido.jp/docs/zaisei/H21-kessan\\_for\\_HP.pdf](http://www.town.kimobetsu.hokkaido.jp/docs/zaisei/H21-kessan_for_HP.pdf)



## 一般会計決算額…歳出 （目的別）

一般会計決算額の支出済額では、最終予算額と比べ総額で約1億3千6百万円少なく、支出率は95・5%でした。様々な事情から年度内に支出できなかったケースがあったからです。

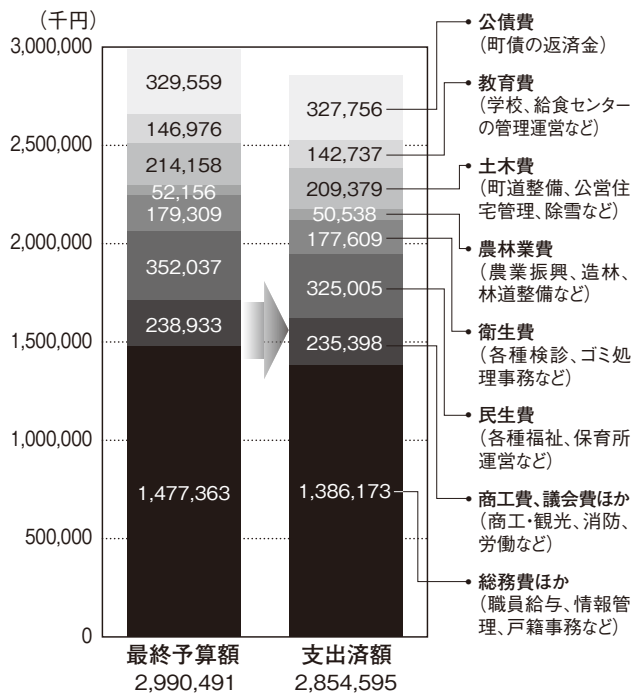
支出済額を事業の領域ごと（教育費など）に分けて表す目的別の歳出科目（グラフC）を見ると、総務費他（職員給与、情報管理、戸籍事務など）が、最終予算額より約9千1百万円少ない結果となったのが眼を引きます。これは、平成23年度への繰り越し事業約7千2百万円などの要素があり、まちづくり交付金事業の事業費の減により平成21年度と比べると3億7千3百万円も減少したことが背景となっています。

## 一般会計決算額…歳出 （性質別）

支出済額を支出の性質（人件費など）に分けて表す性質別の歳出では、投資的経費（普通建

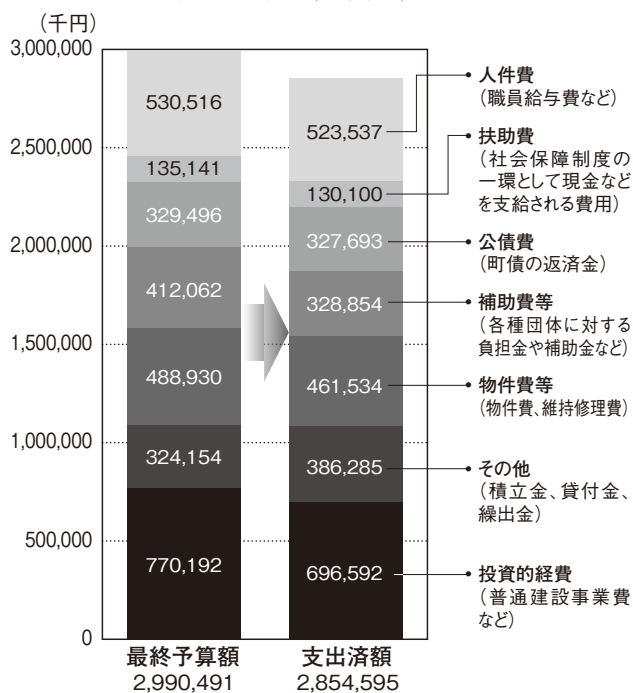
グラフC

■一般会計決算額：歳出（目的別）



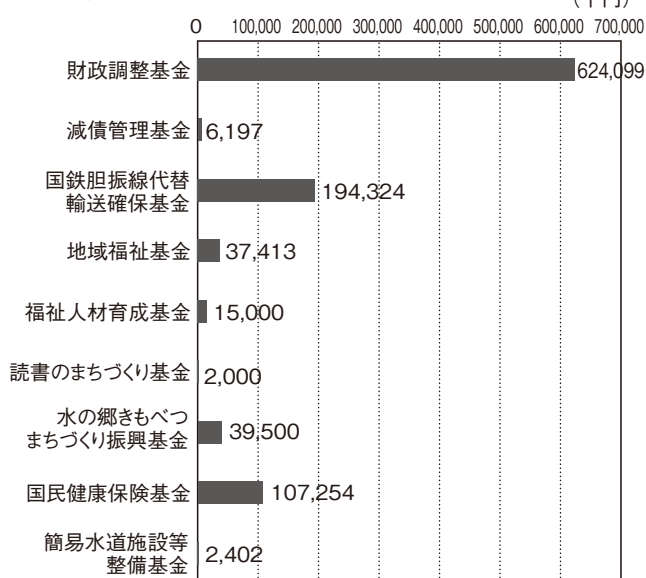
グラフD

■一般会計決算額：歳出（性質別）

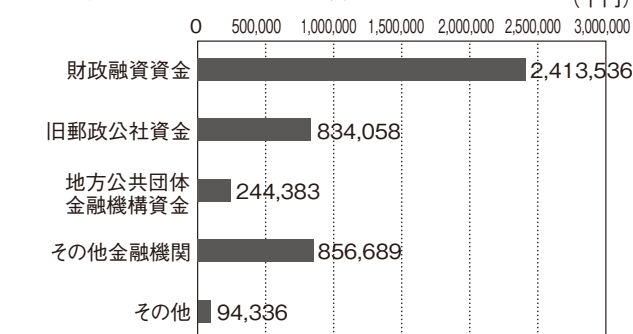


グラフE

■平成22年度における基金残高



■平成22年度における地方債残高



## 貯金と借金の現在高

決算に伴い、貯金（基金）で金額が確定し、また、財政を運営

する上で調達する様々な借金（地方債）の額も確定します。平成22年度末（平成23年3月31日）現在の基金と地方債の額は、

グラフEのとおりです。

また、基金と地方債のこの10年間の推移を見ると、グラフF、財源の調整に使える財政調整基金は増減を繰り返しながらも増加傾向にあり、平成22年度決算では、約6億2千4百万円となっています。地方債も全体としては減少傾向にあり、特に事業実施

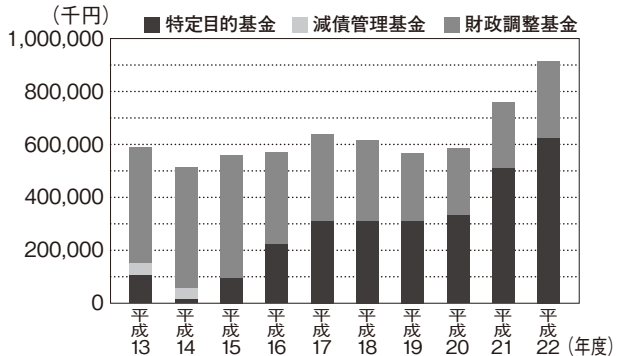
に伴う借金（事業債）は徐々に減少傾向をたどっています。いずれも、財政の安定化をうかがわせる傾向を示していると言えます。

まちの財政状況は、予算から決算までの流れを一貫して読むことで、全体像が見えてきます。今後、予算と決算についての確

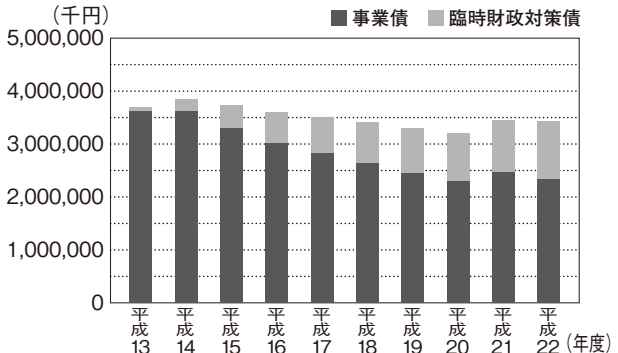
にお伝えしていきます。  
※喜茂別町の職員給与、定員管理などについては、3月号に掲載します。

グラフF

■基金現在高の推移



■地方債現在高の推移



【※4】

財政指標	平成22年度	平成21年度	早期健全化比率
実質赤字比率	—	—	15.0
連結実質赤字比率	—	—	20.0
実質公債費比率	11.8	14.0	25.0
将来負担比率	55.5	92.7	350.0

※—は、赤字でないため比率が記されないことを示しています。

## コラム1

### 町民一人当たりで見ると

- 町民一人当たりの町税納付額…約11万円
- 町民一人当たりの貯金残高（基金残高）………約42万円（21年度比+5万円）
- 町民一人当たりの借金残高（地方債残高）………約183万円（21年度比+1万円）

※借金（地方債）は交付税措置されるものもあり、その分を除いた町民一人当りの借金残高は、約71万円です。

## コラム2

### 平成22年度決算の財政指標

財政がどの程度健全かあるいはそうでないかを示す指標は、次のように【※4】なっています。いずれも、数字が低い程健全であることを示します。

- 実質赤字比率  
一般会計における赤字の程度を示す指標
- 連結実質赤字比率  
一般会計に特別会計も含めた町全体の赤字の程度を示す指標
- 実質公債費比率  
一般会計と特別会計の全ての会計における、公債費や類似経費の程度を示す指標
- 将来負担比率  
一般会計等が将来的に負担しなくてはならない実質的な負債額が、標準財政規模に対してどの程度の割合かを示す指標
- 資金不足比率  
それぞれの特別会計において、営業収益に対する資金の不足額の割合を示す指標

簡易水道事業等特別会計と公共下水道事業特別会計は、資金不足となっていないので資金不足比率は示されません。



12/13

# 第4回 定例議会

菅原章嗣町長から 行政報告

## 1 今年度の農産物の作況について

今年度の気象状況は、本格的な農作業時期を迎えた5月、6月に平均気温を下回る日が多く、特に5月にはマイナス気温を記録するなど、雪融けが遅く農作業全般が大幅に遅れ、生産者によっては、作付計画の変更を余儀なくされました。その後7月は高い気温で推移しましたが、8月、9月は長雨と台風12号による雨の影響で冠水する圃場が出るなど、農作物にとっては大変厳しい気象状況でした。

馬鈴薯は、種子、食用共に変形が多く、小玉傾向で規格外が例年より多い状況です。アスパラは、雪融けの遅れで収穫時期が遅れ、グリーン、ホワイト共に収穫期間が短くなったことにより減収となり、ビートも生育期間が短かったことにより、平年より小さめで糖分も低い状況となっています。



遮光シートによるアスパラ栽培の畑

## 2 損害賠償訴訟の結審について

この度結審した損害賠償訴訟は、平成20年に本町が用地買収した土地が、前所有者の遺産分割協議書不実記載により不当に登記されたものであり、前所有者に用地買収費を支払った行為が不法行為にあたるとして、前所有者の親族が本町に対し登記の真正な回復及び損害賠償を求めたものです。

一審二審ともに、本町の不法行為による損害賠償請求は棄却されたものの、遺産分割協議が成立したとは認められないとして、原告の持分2分の1の登記名義回復が命じられたところですが、本町としては、買収事務

において不法行為はなく、遺産分割協議が成立し、移転登記が完了し相当な期間が経過していることから、不当な判決として最高裁判所へ上告の申立てを行いました。この度の上告の申立てが棄却され、最高裁の判決が確定したところです。

今後については、この判決に基づき原告の持分として認められた所有権2分の1の登記名義回復について、代理人を通して原告と交渉を行っていきますが、既に新たな施設が建設されていることから、原告の持分2分の1を買収することとして交渉にあたりたいと考えています。

買収額が確定した後、予算の計上を行うとともに、本町に損害を与えた前所有者への損害賠償訴訟を提起しますが、不測の判断が下されることを想定し、すでに前所有者の土地1件について、仮差押を行っています。

今後は、用地買収等については慎重に対応していきたいと考えています。

## 麻生隆教育長から 教育行政報告

### 1 喜茂別保育所におけるフッ化物洗口の実施について

平成23年11月1日から、喜茂別保育所の4歳児及び5歳児を対象として、フッ化物洗口を実施しています。

フッ化物洗口とは、フッ化ナトリウムの水溶液で「ぶくぶくうがい」をする虫歯予防方法のことであり、効果と安全性が高いことからむし歯予防のための公衆衛生プログラムとして、普及が期待されています。

とりわけ保育所や小学校などの集団の場においては、安全性にも優れ簡便で継続的に実施できる利点により、全ての子どもたちに対して平等にむし歯予防ができることから、その意義が大きいものと考えています。

平成15年に厚生労働省から「フッ化物洗口ガイドライン」が示され、これを受けて全国的に実施が進むとともに、北海道では平成21年6月に制定された「北海道歯・口腔の健康づくり8020推進条例」に基づき、保育所・小学校等におけるフッ化物洗口の推進をはじめ、全ての道民の歯・口

腔の健康づくりに関する施策が推進されているところです。

こうした中、北海道においては特に5歳から17歳の全ての年齢において、むし歯の有病者率が高く、平成22年度学校保健統計調査によると北海道の12歳児の1人平均むし歯数は全国47都道府県中46位となっています。さらに、道内の平成20年度公立学校児童生徒等定期健康診断における12歳児の歯・口腔の検査を見ると、とりわけ本町の子どもたちはむし歯数が多く、北海道の中でも下位に位置しています。

フッ化物洗口は永久歯の生える4歳から開始し、およそ12歳から14歳まで継続して行うと、高い虫歯予防効果が期待できることから、永久歯のむし歯予防に向けて、喜茂別保育所の4歳児及び5歳児から実施したところです。

実施に際しては健康推進課と連携し、俱知安保健所及び学校歯科医の指導と協力をいただき、職員研修会を開催するとともに、保護者説明会を開催するなどフッ化物洗口に対する理解に努めてきました。フッ化物洗

口を実施するには保護者の同意が必要とされておりますが、全ての保護者から同意書を提出していただきました。洗口開始前には、水道水で「ぶくぶくうがい」の練習を十分行った上で実施いたしましたので、子どもたちは「うがい」にも慣れ、今では毎日の生活リズムとしてしっかりと定着しています。

なお、洗口液は学校歯科医の指示により、担当職員が粉末状の製剤を水道水に溶かして調製していますが、製剤そのものは劇薬扱いとなつていまずので鍵のかかるスチールロッカーに保管するとともに、薬剤の使用量と残量を出納簿に記録し確実に管理しています。ただし、水に溶かして水溶液となった洗口液は、劇薬扱いとはなりません。

フッ化物洗口の安全性と有効性については、WHO(世界保健機関)、厚生労働省、文部科学省をはじめ、日本歯科医師会、日本歯科医学



保育所でのフッ化物洗口のようす



# 写真で振り返る 12・1月 の出来事



## 12/3(土)KRFきもべつロックフェスティバル

第4回となる恒例のKRFきもべつロックフェスティバル2011が、農村環境改善センターで行われました。11組のバンドやユニットは、喜茂別のほか、留寿都、ニセコ、札幌などに加えて、今年は伊達と黒松内からも参加出演がありました。観客も昨年より増え、演奏者との交流を楽しんでいる様子でした。昨年の夏まつりに続いて演奏した中学生バンドの初々しさも、人気を集めました。

## 12/15(木)保育所と小学校の交流会



保育所と小学校の連携を進める観点から、今回は喜茂別小学校の1、2年生の児童が保育所を訪れ、園児たちに歌を披露したり一緒に歌ったり、ゲームなどを行ったりしました。昨年まで保育所で一緒に遊んでいた1年生もすっかりお兄さん・お姉さんになって、園児たちの手を引いて遊びをリードしています。小学生のきびきびした姿に向けられた園児たちの眼が、生き生きと輝いていました。

## 12/19(月)青年交流セミナーのそば教室

栄地区のセミナー農園で栽培、収穫したそばを使い、そば打ち体験をしながら年末のひとときを楽しもうというイベントが、農村環境改善センターで開かれました。きもべつ青年交流セミナーのメンバーが子どもたちのリーダーとなっていくつかのグループを作り、三浦きえさんと山本玲子さんの手ほどきをうけながら子どもたち全員が持ち帰り用のそばを打ちました。最後は作り立てのそばをみんなで試食し、満足そうな表情でした。



## 12/19(月)鈴川地区のお茶会



鈴川地区のお茶会が、久しぶりに開催されました。地域おこし協力隊の徳永純子さんの手ほどきで、布草履をつくって楽しもう、という企画です。この日は2回目ということで、色とりどりの布草履や布スリッパを編んでいます。協力隊の岩井さんが焼いたパンを試食しながら、いつの間にかおしゃべりが始まります。地区以外からの参加者や、お茶会は初めてという若いお母さんも熱心に取り組んでいました。

## 12/20(火)～22(木)デイサービスのクリスマス

ふれあい福祉センターで、恒例のクリスマス会が行われました。デイサービスを利用する方全員が楽しめるようにと、3日間行われました。今年の出し物は、「ももたろう」。現代風のアレンジが施された、ご当地を舞台に繰り広げられるコメディタッチの展開に、笑い声が絶えないひとときとなりました。今年は、協力隊も特技を活かした配役を演じ、舞台を盛り上げました。



## 12/22(木)パフ・ファミリーコンサート

札幌を拠点に演奏活動をしている「子どもたち大好き」なミュージシャンの一座によるファミリーコンサートが、農村環境改善センターを会場に行われました。通信会社の主催を後援した教育委員会のバスで集まった町内各地の子どもたちや保護者など多くの町民も、みんな知っている曲に合わせて思い思いにリズムを取り、クリスマスを迎える楽しい年末のひとときを楽しみました。



## 1/1(日)剣道の新春初稽古



年末年始に毎年喜茂別を訪れる栄花英幸さん、栄花直輝さんご兄弟を武道館に迎えて、剣道の初稽古が行われました。栄花ご兄弟を中心に10人程の先生方が、喜茂別や札幌の少年剣士を指導します。実戦ながらの稽古も行われ、子どもたちばかりではなく、先生方にとっても緊張感に満ちた稽古の場になったようです。稽古が終わった後で子どもたちは栄花ご兄弟を囲み、一言も聞き漏らすまいと真剣な面持ちで指導を受けました。

## 12/28(水)～30(金)デイサービスのそば打ち教室

デイサービスの年末は、恒例の楽しい行事が続きます。ふれあい福祉センターを会場に、3日間に亘って、町内外のそば打ち名人による日替わりそば打ち体験教室が行われました。それぞれの個性的な技を披露し、そばを打ってデイサービスを利用している方々にごちそうしました。昔取った杵柄を披露しようと、そば打ちに飛び入り参加する方もおられ、「昔を思い出します。なつかしい」と涙ぐむひとときもありました。



## 1/6(金)消防出初式

新春を迎えて最初の公式イベントである消防出初式が、穏やかな天候のもとで行われました。消防車両などによる町内パレードに続いて、勢揃いした消防団の観閲が役場庁舎前で行われた後に、役場庁舎2階会議室で勤続功労などの表彰が行われ、地域の防災に取り組む決意を新たにしました。



## 1/8(日)成人式

農村環境改善センターにおいて、成人式が行われました。今年成人した13名のうち6名が出席し、多くの来賓から祝福と励ましを受けました。新成人を代表して鷹羽詩織さんに記念品が贈呈され、西森優一さんが誓いの言葉を述べました。式後、和室において茶会を体験し、京極町の茶道裏千家淡交会代表の高橋宗貞さんから茶道の精神についてお話を聞きました。また、臨席した小学6年生のときの担任吉崎雅恵先生(余市)から、タイムカプセルの贈り物を受け取り、感激の面持ちでした。





## ヒロリ菌が貧血の原因に

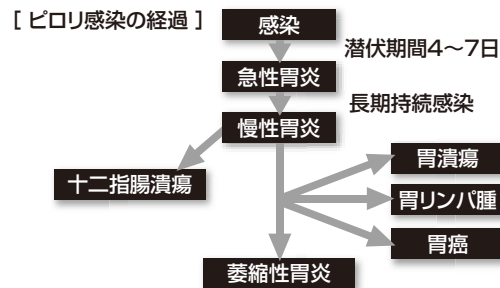
昨年の10月号に続き、札幌厚生病院の小児科主任部長今野武津子先生にお話を聞きました。今回は、ヒロリ菌が、胃がんだけでなく鉄欠乏性貧血の原因にもなっているという、興味深いお話です。

「胃がんの早期予防を目的に、喜茂別の子どもたちを対象に、ヒロリ菌を調べています。検査されたのは約1000人程度で、お子さんが陽性の場合、保護者も検査を行っています。」

今回検査した中で、家族全員がヒロリ菌「陽性」という例がありましたので、除菌治療に向けた感受性検査のため病院に来ていただき、その検査の過程で、お子さんが鉄欠乏性貧血であることがわかりました。ヘモグロビンの通常の値は12〜13g/dl、10g/dl以下が貧血なのですが、この子は6g/dlしかなかったのです。いつも部活で運動していましたが、自覚症状はほとんどなかったと言

## 第23回 健康診断で

## いつまでも健康に



います。成長期の男子も女子も、鉄分の需要が増えて徐々に鉄欠乏性貧血が進行する場合でも身体がそれに慣れてしまい、自覚症状が出ないので、でも貧血を放置すると、集中力や持久力が低下して、勉強やスポーツでがんばる意欲やスタミナが落ちてきます。

今回、このお子さんのヒロリ菌を除菌したら、貧血も治りました。ヒロリ菌が鉄分を横取りしていて鉄欠乏がおこり、貧血になったと考えられます。このような例は他にも報告されています。ちなみに、やはりヒロリ菌を抱えたお父さんは胃潰瘍の治療をするようになったのですが、胃潰瘍や十二指腸潰瘍も、その原因の多くはヒロリ菌によるものなのです。」

今野先生は、子どものヒロリ菌を除菌することは、将来の胃がんや胃潰瘍などを防ぐだけでなく、貧血防止にも大いに役立つと言います。

ヒロリ菌の無料の検査を、ぜひ受けましょう。

※お問合せ先：健康づくり係

## きもべつの文芸

## ※スラン俳句会※

人日やいつしか後期高齢者  
招り減りし辞典の表紙年惜しむ  
給油をくれし軍手に風花す  
湧き水の音は軒か山眠る  
白衣脱ぎ娘サンタの役担ふ  
風花や日輪遠くくぐもれり  
雪の精舞降る一片手に受けし  
家毎に人の影あり雪の朝  
人日や好物食べて息災で  
人日や緑少なき北の粥  
LEDといふ街灯に風花す

## ※喜茂別短歌会※

お正月日の丸掲げ胸に手を  
平和な国の弥栄願ふ  
雪見ても美味しい南瓜種残し  
この春南瓜植えて見ようか  
豪雪が一夜に降って雪投げす  
老骨痛み腰を撫でる  
時化の朝出勤の息子思いやる  
事故なきように病なきよう  
送り来し干柿甘く電話する  
従姉妹懐かし越中ことば  
落武者かはたまぼろしか今も尚  
弱肉強食つづく此の世に  
野無気力なわれに鞭うちまた一つ  
年を重ねて明日の夢見る

吉見 啓一	三間 登志	福井 富子	高谷 羽瑠子	井上 双葉	鈴木 章美代	小出 盛子	佐藤 紅葉	向 三郎	佐藤 翠虹	辻口 秋草子
向 三郎	桑原 博美	飯田 北州	三間 恵子	佐藤 百合子	さとうとみえ	栄花 豊				

## 健康通信

ふれあいセンター



## ふれあいサロンはまちのたまり場

交流スペースを気軽に利用してください

## 2年目を迎える「ふれあいサロン」



「ふれあいサロン」で、ご存知ですか？ふれあい福祉センターのホール前ロビーに設置された、談話スペースのことです。1年ちよと前に、テーブルやいすなどをセッとし、町民の皆さんがいつでも気軽に利用できる空間として、改装オープンしました。

既に、町民の皆さんに様々なかたちで利用されています。私たちのまちでは、市街地であっても気軽に立ち寄れる喫茶店のような場所がありません。ふれあい福祉センターは本来そのような役割も期待された施設なのですが、なかなか利用しにくい側面もあったようです。ふれあいサロンは、ふれあい福祉センターをもっと利用してほしいという本来の趣旨に添って、工夫された空

## 間なので、どんなことに利用されているの？

町民の皆さんがちよとした会議やミーティングを行うとか、友人と会っておしゃべりしたいとか、気軽なたまり場として利用できます。飲み物（アルコール以外）やちよとした食べ物の持ち込みもOKです。

また、平日は介護予防教室としても使われています。特に11月から始まった遠隔健康システムの会場として利用されていますので、ど



ふれあいサロンで行われている遠隔健康システム

んな様子なのか、この場で見学も可能です。介護予防の簡易な料理教室も行っています。

そして何より、町民同士が気軽に交流を深めることができる憩いの場です。ぜひ、ふれあいサロンにお出かけください。

## 保健師からのメッセージ

できることから始める健康づくり

皆様健康で幸せな1年ありますように。本年もよろしくお願いいたします。



左から  
中沢友美 保健師  
今橋文代 保健師  
菊田有美 保健師  
(イラスト：麦島泰子)

## ちょっと耳寄りな話

厚生クリニック 桂院長の

第35回

## 認知症について理解を深める⑥



認知症は、もちろん病気の一つです。前回までは、どのように症状を診断して治療の方針を見いだすか、というお話でした。でも、同時に、認知症は治療の対象としてはまだまだ困難が多く、多くの場合医療で救済することができていません。医療機関に来て診断を受けていただくことで、本人だけでなく周囲の人たちがどのように対応すべきかを理解する手助けができる、という程度なのです。

でも、そのことはとても重要です。「ボケた」と一言で片付けず、本人だけでなく、家族や地域を含め周囲の負担を軽減するためにも、どのような原因でどのようなことができなくなっているのか等について、医療機関の診断やアドバイスを積極的に利用してほしいと思います。

家族が介助しきれないケースが多い中、周辺の地域住民がどんな支援をできるのかを考える上でも、認知症の医学的な理解は不可欠だと思っています。

## 健康づくり係よりお知らせ「知っ得!栄養バランス塾」を開催します!

血糖値をおだやかにする食事を皆で作り、昼ご飯と一緒に食べます。

【日程】2月16日(木)  
【時間】10:30~13:00  
【場所】農村環境改善センター(旭町)

良い血糖値を保ちたい方や糖尿病の進行を防止したい方など、どなたでもご参加ください♪

【申し込み先】2月13日までに、ふれあい福祉センター健康づくり係へ申し込みください。

電話 31-2940 IP番号 31-2941



## 町からのお知らせ

所得税・住民税の申告は  
お早めに

平成23年分所得税の確定申告及び平成24年度住民税の申告相談日を町内地区ごとに設けて行います。

毎年、確定申告期限間近になると大変混雑しますので、申告はできるだけ相談日に済ませましょう。

また、医療費控除等の還付に関する相談は、申告期間前でもできますので、源泉徴収票（原本）・印鑑（シャチハタ以外）・医療費の支払い領収書（原本）等をご持参のうえ、お越しください。

なお、税務署より確定申告の用紙が送られている方につきましては、申告相談会場にご持参ください。

## ■申告期間

2月16日（木）～3月15日（木）

## ■受付時間

午前9時～正午  
午後1時～午後4時

## ■会場

役場庁舎内1階特設会場

（役場正面玄関を入って左手奥）

## ■相談日

2月16日（木）幸町1・幸町2・本町

2月17日（金）大町1・大町2

2月20日（月）緑町

2月21日（火）旭町

なお、要介護認定等の基準と障害者控除対象者の認定基準は異なりますので、必ずしも障害者控除の対象者と認められるわけではありません。

また、身体障害者手帳や療育手帳などの交付を受けている方は、即ち障害者控除の対象者となっておりますのでこの制度の対象にはなりません。

認定書の交付を受けるには、申請が必要となりますので詳しくは、喜茂別町ふれあい福祉センター内・健康福祉課高齢者福祉係（電話31・2940）までお問い合わせ下さい。

## 喜茂別町監査委員よりお知らせ

平成24年1月18日に平成23年12月末分の例月出納検査を実施いたしました。検査の結果、各基金・各会計及び歳入歳出外現金とも計数上の誤りは認められませんでした。

## きもべつ 119

火災	12月	累計	前年同期
建物火災	0件	0件	1件
車両火災	0件	0件	0件
その他	0件	0件	1件
合計	0件	0件	2件

救急	12月	累計	前年同期
急病	8件	125件	130件
一般負傷	10件	88件	74件
交通事故	2件	39件	31件
その他	2件	30件	26件
合計	22件	282件	261件

ほっと  
インフォメーション

## 「朝読・家読」イメージキャラクター応募で、喜小の渋谷比名里さんが受賞。おめでとう！

12月22日、喜茂別小学校6年生の渋谷比名里さんが、北海道教育庁後志教育局から表彰を受けました。

これは、北海道教育委員会が公募していた「朝読・家読運動」のイメージキャラクターと愛称の応募作品の中

⑤ 火災や風水害などで災害の復旧にあたっている方

⑥ これらに類する常態にある方

## ■留意事項

○申込時に必要な書類

・入所申込書

・就労証明書

・同意書（所得調査）

・所得等の確認できるもの（源泉徴収票等）

・その他

○町外の保育所へ入所を希望される方も申し込むことができます。

○申込書を審査し、決定後入所承諾書をお送りいたします。

※お申込・お問合せ先

喜茂別保育所 33・2142



保育所と小学校の交流など、楽しいことがいっぱい

## 平成24年度喜茂別町放課後児童クラブ（学童保育）の入所児童を募集します

平成24年度の放課後児童クラブに入所する児童を募集いたします。

現在入所中の児童で引き続き入所する場合も申込が必要になります。希望者は、次の入所条件を確認のうえ、申込書を提出してください。

## ■対象児童

町内の小学1年生～小学3年生

## ■募集期限

平成24年2月29日

## ■保育場所

きもべつ笑みくな内

## ■保護者負担金

月額2千円～5千円

## ■入所条件

・両親が共働きで昼間保護者のいない家庭の児童等

※申込・問い合わせ先

喜茂別保育所 33・2142

## 要介護認定者等に係る障害者控除対象者の認定について

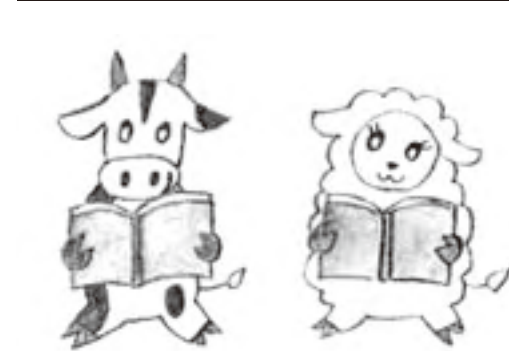
喜茂別町では、65才以上の介護保険で要介護認定等を受けられている方で一定の基準に該当し、障害者に準じると認めた場合に、町長が交付する「障害者控除対象者認定書」により、税の障害者控除の対象者として認めることになっています。

喜茂別保育所に、新しい保育士  
小熊香さんが着任しました。

1月から、喜茂別保育所に新しい保育士、小熊香先生が着任しています。岡田君子先生が3月いっぱい定年退職することに伴い、引継のためこの時期から岡田先生とともに保育所活動にあたっています。

着任早々ですが、小熊香先生にお話を聞きました。前任地はニセコ町の幼児センターで、その前は岩内の幼稚園に勤務していたとのこと。泊村出身と言いますから、後志管内への深い縁を感じます。

「岡田先生から保育所活動についてしっかり学びながら、今は園児と仲良くなつて、保護者の方ともまちの方とも親しくなりたいと思っています。のびのび楽しく、家庭的な雰囲気保育所にしていきたい、というのがモットーです。気軽に声をかけていただきたいと思いますね。」



渋谷比名里さんの作品（優良賞）





# 地域おこし協力隊の活動報告 11

## 地域おこし協力隊が地区に残したものの「お茶会」

### 地域意見交換会から

12月15日、北海道が主催し、全道各地で調査等を行う事業の一環として、地域意見交換会が役場大会議室で開催されました。本町では、集落支援員と地域おこし協力隊が参加しました。

2つのテーブルに分かれてグループ討論を行った後に、全体で意見が交



換され、支援員と協力隊がこれまで集落とどのようにに関わり、その結果どのような変化や課題が見えてきたのか、さまざまな意見が出されました。北海道大学の柳村俊介教授（集落対策促進会議座長）の進行によって進められた意見交換の様子に、耳を傾けてみましょう。

### 集落内での交流が少なくなった

「集落のお年寄りは、80代になっても元気な人が多く、気力も体力もしっかりして自立して暮らしている人が少なくない。反面、近隣の交流が希薄になって、支えあいが少なくなったと思う。意思疎通やお互い理解しようとする努力をもう少ししないとね。」双葉地区集落支援員の熊谷實さんが、議論の口火を切りました。

「集落のそのような実情を、協力隊はどのように受け止めていますか？」柳村教授の質問に、協力隊からも意見が出ました。

「確かに、お祭りとか葬儀の場では皆さんよく話していますけど、お互い遠慮して言えないこともあるようです。そのようなときは、私たち協力隊が間に入って伝えることもあります。」

地区のコミュニケーションを深めることに役立つことができるのであれば、うれしいですね。」

### お茶会の場ではどんなことが？

「そんな状況の中で協力隊が始めたお茶会は、どんな場になっているんですか？」

「集落で思い思いに寄り合う場が少なくなっていると感じたので、私たち協力隊が呼びかけてみよう、ということとで始めたんです。私たち協力隊が声をかけて、果たして来てくれるかなって心配しましたが、皆さんずいぶん集まってくれました。お茶を飲んでお菓子を食べながら、誰かが話題を出すと、『私も知ってる！』って、どんな話の輪が広がるんです。集落でこれまで生きてきた共通の思い出を振り返って、お互い改めて共有しあっているような感じです。これからの新しい話より、昔の話の方が盛り上がりやすいですね。胆振線の上映会を各地の集落で行いましたけど、何かテーマがあった方が、皆さん集まりやすいようでした。」鈴川地区でお茶会を始めた協力隊の話を受けて、栄地区の支援員宮本弘夫さんも話します。



「栄地区には5つの集落があって、いつもはバラバラなんです。でも、交流を期待する気持ちは、きっとみんな同じではないかと思えますね。地元の人だけでは集まりにくいようなので、移住してきて地域のことを知りたい移住者が声をかける方が、きっと集まりやすかったのだらうと思います。」

### お茶会は継続できるか？

「お話を聞いていると、お茶会は協力隊が残した最大の『置き土産』のように感じますが、これからお茶会は継続できそうですか？」

「協力隊がいなくなったら、集まるのはなかなか難しいように思います。」

員の方はどうです？」

「協力隊は任務として関わることができたけど、支援員や個人が終始対応するのは難しいと思うね。」御園地区の支援員の松井孝司さんは、自分の経験をもとに課題の難しさに触れました。

「地区の運営組織のどこかに位置づけないと、なかなか動けないんじゃないかな。」と、地域事情に触れる留産・比羅岡地区の行天勝美さん。

「支援員の中で宮本さんはお茶会に熱心に関わって来たのだから、何か良い考えがあると思うけど、どう？」鈴川地区担当の菊地光雄さんに促された宮本さんも、難しい課題だと言います。

「最後のお茶会るとき、集まった方にアンケートをお願いしました。その中で、みなさん、お茶会のような場を続けてほしいと言っています。でも、どうしたらできるのか・・・」

### 協力隊任期終了後の集落のあり方は？

「お茶会はずばらしい試みだったけど、継続はなかなか難しいというお話でした。協力隊や支援員個人に負わせるのではなく、地区のみんなに共通の課題だからということで、地区の皆さんが動かないといけないようですね。」

柳村先生のとめは、地域おこし協

力隊任期終了後の集落のあり方を考える上で、基本的な方向性を暗示するものになったようです。

### お茶会継続を模索する最前線から

全体意見交換の中でお茶会参加者へのアンケートに触れた支援員の宮本弘夫さんに、インタビューしました。

「アンケート結果を見せていただく、ほとんどの方が今後も参加したい、テーマがあっておしゃべりができるお茶会がいいけど、そば打ちなどが体験できるのもいい、という結果になっていますね。」

「お茶会に参加する人は、何か知りたい、というより、何か話したい、という人が多いように思います。ふだん聞いてくれる人がいないので、聞いてくれる人がいる場所に参加したいのですね。自分の話を聞いて、自分の人生体験の一部を共有してくれる人との関係が生まれることを期待しているように思います。話の多くはとりとめのない話題が多いのですが、それで良いのだと思うんです。」

「意見交換では、それでも継続は難しいと皆さんおっしゃっていましたけど、何がネックだと思えますか？」

「協力隊がいる間は可能で彼らがいないとできないことは、送迎です。個人の努力では限界があります。地区あ

るいは町のレベルで何らかの仕組みが考えられると、継続は可能だと思うんです。地区の住民が自主的に運営するお茶会を、住民では無理な領域で行政が協力する、という仕組みが必要だなと感じますね。」

「アンケート結果を受けて、栄地区では何か具体的に考えていますか？」

「とりあえず、1月から3月まで、月1回程度お茶会のような集まりを続けてみるつもりです。そのなかで、参加する皆さんと一緒にいろいろと考えてみたいと思います。集まりの中でやってみたいアイデアは、たくさんありますから。」

地域おこし協力隊と集落支援員が地域に残したものは何なのか。各地区で真剣に考えてみる必要がある。そんなことを示唆するお話でした。





表紙 Photo

余話



タイムカプセルから出てきたのは、小学6年生のときに作った、未来の自分へのメッセージ。8年前の自分に再会した6人の新成人は、過去に出会ったのか、未来に出会ったのか、ちょっぴり不思議な気持ちになったのではないのでしょうか。人生の新たな門出の機会に、自分の原点を振り返ることの大切さを改めて感じとったかもしれません。そして、当時担任の吉崎雅恵先生もまた、時空を超えて教え子に想いを届ける、大人の心と生き方をさりげなく教えてくれたのだと思います。今年も、すてきな成人式でした。

【戸籍の窓口】

こんにちは はじめまして

紺野 凌来くん(12月14日生まれ) … 緑町  
お父さん 勇来さん お母さん 結貴さん

お悔やみ申し上げます

12月10日 佐藤 ツエ子さま(90歳) …… 緑町

12月15日 須藤 喜市郎さま(99歳) 末広町

12月21日 森 八千代さま(87歳) …… 大町2

■編集後記

町民の方から、「広報紙に決算報告が載っていない。役場職員の給与などについても知らせるべきだ」といったご指摘をいただきました。住民目線の広報紙づくりを目指しているながら、この5年間主体的に取り組んでこなかった自分を情けなく思います。今月号でようやく記事にすることができましたが、まだまだ「住民目線の広報紙」に届いていないな、と自らを戒めています。久しぶりに、18年前の恵庭市の広報「特集 自治を問う」を取り出して読み返しました。ここまで到達しなければいけなかったんだ。まちづくり編集工房が目指した原点を振り返る良い機会となりました。(梅)

まちのカレンダー

救急当番病院 農村環境改善センター 鈴川集落センター 厚生生クリニック ふれあい福祉センター  
 笑み～な 倶知安町文化センター 岩内町高台84-3 0135-62-8373 町民公園パークゴルフ場  
 喜茂別中学校 喜茂別小学校 鈴川小学校 喜茂別保育所 双葉克雪管理センター  
 町民プール 図書室 ちびっこ広場 留産地区管理棟

2/ 5 日	スズラン俳句会例会13:00～ +救急当番病院▶倶知安厚生病院☎22-1141
6 月	心配ごと相談9:00～/ 喜楽友10:00～
7 火	秋桜さーくる10:00～/ 予防接種10:00～/ 乳児健診12:45～ 冬のウォーキング17:00～/ 運転免許法定更新時講習(一般10:30～ 違反13:00～ 優良15:15～)
8 水	さくらの会10:00～/ レディース検診(札幌) しりべし弁護士相談センター(事前予約)
9 木	元気塾10:00～
10 金	喜茂別町小学校スキー大会/ 冬のウォーキング17:00～
11 土	[建国記念日] 第10回喜茂別会長杯クロスカントリースキーレース +救急当番病院▶倶知安厚生病院☎22-1141
12 日	+救急当番病院▶倶知安厚生病院☎22-1141
13 月	心配ごと相談9:00～/ 喜楽友10:00～
14 火	秋桜さーくる10:00～/ 冬のウォーキング・健康相談17:00～ 運転免許法定更新時講習(違反10:00～ 初回13:15～ 優良15:30～)
15 水	老人クラブ室内パークゴルフ/ さくらの会10:00～ これから母親わくわくサークル14:00～/ しりべし弁護士相談センター(事前予約)
16 木	自由サロン10:00～/ 知っ得!栄養バランス塾10:30～
17 金	冬のウォーキング17:00～
18 土	老人クラブベタンク9:30～ +救急当番病院▶倶知安厚生病院☎22-1141
19 日	+救急当番病院▶倶知安厚生病院☎22-1141
20 月	心配ごと相談9:00～/ 喜楽友10:00～/ しらかば会
21 火	秋桜さーくる10:00～/ 冬のウォーキング17:00～ 運転免許法定更新時講習(優良11:00～ 違反13:00～ 一般15:15～)
22 水	さくらの会10:00～/ しりべし弁護士相談センター(事前予約)
23 木	元気塾10:00～
24 金	ふまねっとカフェ10:00～/ 冬のウォーキング17:00～
25 土	+救急当番病院▶倶知安厚生病院☎22-1141/ 蘭越診療所☎57-5424
26 日	+救急当番病院▶倶知安厚生病院☎22-1141/ 蘭越診療所☎57-5424
27 月	心配ごと相談9:00～/ 喜楽友10:00～
28 火	秋桜さーくる10:00～/ 冬のウォーキング17:00～
29 水	さくらの会10:00～/ 定山溪温泉ツアー しりべし弁護士相談センター(事前予約)
3/ 1 木	☆広報3月号・回覧物配布日 自由サロン10:00～
2 金	老人クラブベタンク9:30～/ フレッシュ大学 真狩との交流10:30～ 冬のウォーキング17:00～
3 土	+救急当番病院▶倶知安厚生病院☎22-1141

町民まちづくり編集工房から

広報きもべつ「編集会議」にご参加ください!!

毎月「編集会議」を開催していますが、これは、町民ならどなたでも参加できる場です。もちろん意見を述べることも自由です。日時等はおしゃべり回覧板とホームページでご案内いたしますので、是非ご参加ください。

人口と世帯  
(12月末日現在)

( ) は前月比

人口

男 1,211人 (+ 3)

女 1,199人 (- 2)

合計2,410人 (+ 1)

世帯数

1,244戸 (+ 4)